



支部活動開催報告

記載日： 2021年10月26日

| | | | |
|------------------|---|-------------------------------------|--|
| 事業の名称 | デジタルものづくりワークショップ ～3D プリンターで自助具製作～ | | |
| 開催日時 | 2021年8月14日 13時30分～17時30分 (半日間) | | |
| 開催場所 | 会場名 | なごや福祉用具プラザ | |
| | 住所 | 愛知県名古屋市昭和区御器所通3丁目12-1 御器所ステーションビル3F | |
| 講師・演者等 | 渡辺崇史(日本福祉大学), なごや福祉用具プラザ職員 | | |
| 参加者数 | 合計 19 人(会員: 3 人、非会員: 15 人、学生: 1 人) | | |
| 事業種別 | ・展示会 ・セミナー/シンポジウム ・勉強会/〇講習会 ・その他 () | | |
| | 共催: (社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団 なごや福祉用具プラザ, 日本福祉大学 福祉テクノロジーセンター 協力: 日本リハビリテーション工学協会中部支部 | | |
| プログラム概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・【講義】3D プリンターを使ったものづくりの方法(基礎編) ・【実習】3D プリンターを操作して自助具製作をする ・【演習】3DCAD を使って自助具をデザインしてみる ・【グループワーク】作ってみたい・欲しい道具を考えよう | | |
| 開催概要 (400字程度) | <p>現在, 3D プリンター等のデジタルものづくりが自助具や各種支援機器の製作にも利用され始め, リハビリテーション, 特別支援教育, 福祉用具の相談場面での活用事例が多く報告されるようになりました。</p> <p>そこで今回は, 3D プリンターの利点を活かした機器・道具が提供できるように, 「デジタルものづくりワークショップ 3D プリンターで自助具製作」の開催協力を行いました。具体的には講義の講師と, 3DCAD や 3D プリンター操作の補助を中部支部会員が担当しました。講義では, なぜ 3D プリンターは支援技術サービスに有用なツールとなるのかについて, 事例を紹介しながら説明するとともに, 3D プリンターによる造形方法の基礎知識について話をしました。実習・演習では, 入門的な 3DCAD アプリを利用してカップホルダーをデザインし, さらに, 参加者自身が 3D プリンターを操作してストローホルダーを造形しました(講習会のお土産として持ち帰っていただきました!)。今後も継続して続けていく予定ですので, 興味のある方は次の機会に参加ください。</p> <p>なお, 今回の講習会で紹介・活用した自助具データは, Web サイト SS-AT(https://ss4at.nanalabo.co)にも掲載しているので, どうぞ訪ねてみてください。(文責: 渡辺崇史)</p> | | |
| 写真 (2枚を貼付け) |  | |  |
| | <p>図1: ワークショップの様子</p> | | <p>図2: 設計したカップホルダー</p> |
| | (その他の写真 〇無) ファイル名: | | |
| フライヤー等 | (添付ファイル 〇有) ファイル名: デジタルものづくり体験会チラシ.pdf | | |
| Web サイト | https://www. | | (継続) |
| 開催報告掲載 | 協会誌 Vol no (掲載済み・予定) | 新聞等 | |

※可能な限り 1P で記載